

- 問1 日本とフィリピンの経済連携協定（EPA）における、具体的な取り組みとフィリピン側のメリットを組み合わせたものとして、適切なものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. フィリピン産米の日本への輸出枠の拡大と、日本からの原子力発電技術の無償提供 | 2. 日本企業のフィリピン国内での活動禁止と、フィリピン政府による日本円の独占的運用 | 3. 日本へのバナナ輸出に関する関税の撤廃と、日本からの看護・介護分野における技能習得支援 | 4. 日本から輸入する自動車への関税の大幅な引き上げと、フィリピン国内の道路網整備の独占 |
|--|--|---|--|
- 問2 インドにおいて、人口の約8割と最も多くの人々に信仰されており、聖なる川とされるガンジス川などで心身を清める「沐浴（もくよく）」という儀式が生活に深く根付いている宗教は何ですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|-------|----------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドゥー教 | 3. 仏教 | 4. キリスト教 |
|----------|-----------|-------|----------|
- 問3 世界の農作物の生産統計において、生産量の上位に中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムといったアジア州の国々が並び、それらの地域で人々の主食となっている農作物はどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-----------|------|-------|
| 1. 大豆 | 2. とうもろこし | 3. 米 | 4. 小麦 |
|-------|-----------|------|-------|
- 問4 アフリカ大陸西部のギニア湾沿いに位置するナイジェリアの経済状況と、それに関連した小売業の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 主要な輸出製品は小麦などの穀物であり、農村部では1人当たり国民総所得が均一に高いため、都市部との経済格差がほとんど存在しない。 | 2. アフリカ最大級の人口と豊富な石油資源を背景に経済成長が続いており、都市部では近代的なショッピングモールが見られる一方、伝統的な市場も重要な役割を果たしている。 | 3. 1人当たり国民総所得が世界で最も高い水準に達しており、小売業のほとんどがインターネットを通じた電子商取引に置き換わっている。 | 4. 人口減少が深刻な課題となっており、労働力不足から小売業では無人店舗が全国的に普及している。 |
|--|--|---|--|
- 問5 2000年代後半から2010年代半ばにかけてのインドの経済状況において、低所得層の世帯割合が8割弱から3割強へと大幅に減少する一方で、ある特定の層が約2割から6割以上へと急拡大しました。この変化がインドの経済的役割に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 所得水準の向上によって商品の需要が増大し、世界的に有力な巨大な消費市場となった。 | 2. 中間層の拡大により賃金が高騰したため、外国企業が生産拠点を他国へ移転し、市場が縮小した。 | 3. 国内の需要が著しく減少したため、自国製品のほとんどを海外へ輸出する輸出拠点となった。 | 4. 所得格差が完全に解消されたことで、伝統的な農業を中心とする経済構造へと回帰した。 |
|---|---|---|---|
- 問6 近年、日本の商業やサービス業が東南アジアへ積極的に進出しています。2000年から2018年にかけての統計において、東南アジア全域で人口が増加し、1人当たりの国民総所得（GNI）が数倍に成長している状況を踏まえ、企業が進出を判断する主目的となる背景として最も適切なものはどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 豊富で安価な労働力を大量に確保し、工業製品を低コストで製造して日本へ逆輸入するため。 | 2. 人口の増加と経済水準の向上により、商品やサービスを消費する市場としての価値が拡大したため。 | 3. ASEANの結成によって域内の関税が撤廃され、原材料を安く調達して他地域へ輸出する拠点にするため。 | 4. 広大な土地を利用して、天然ゴムや油やしなどの特定の農作物を育てるプランテーションを開発するため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 南アジアに位置するインドにおいて、1990年代の経済の自由化以降、情報通信技術（ICT）関連の産業が急速に発展した中心都市はどこですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. バンガロール | 2. ムンバイ | 3. コルカタ | 4. ニューデリー |
|-----------|---------|---------|-----------|
- 問8 新興工業国の経済成長に関する記述として、人口と一人あたり国民総所得（GNI）の変化、および市場の関係について述べたものとして正しいものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 人口が増加し、一人あたり国民総所得が向上することで、その国は巨大な消費市場としての側面を強める。 | 2. 人口が減少し、一人あたり国民総所得が向上することで、労働集約的な産業の生産拠点としての重要性が増す。 | 3. 人口と一人あたり国民総所得の双方が減少することで、国外への輸出に依存しない、購買力の高い自立した市場が形成される。 | 4. 人口が増加しても、一人あたり国民総所得が停滞していれば、購買力が向上するため市場として急成長する。 |
|---|---|--|--|
- 問9 インドにおいて、植民地時代の名残から共通語として英語が普及していることや、高い数学・技術教育を背景に急速に成長した、情報通信技術に関する産業を何と呼びますか。最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 自動車産業 | 2. バイオ産業 | 3. ICT産業 | 4. 重化学工業 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問10 インドネシアなどを含む東南アジアの国々において、ASEAN（東南アジア諸国連合）による地域協力が進んだことで、産業構造にどのような変化が見られますか。最も適切な説明を選びなさい。（2026年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 域内の関税が段階的に廃止されて市場としての魅力が高まり、日本などの外国企業の進出が相次いで工業化が進んだ。 | 2. 域内のすべての国で単一通貨が導入されたため、農業中心の経済から観光業を主軸とした経済へと一斉に転換した。 | 3. 外国企業の進出を厳しく制限したことで、伝統的な手工業を中心とした独自の経済圏が強化された。 | 4. 天然資源の輸出に頼る経済からの脱却を目指し、加盟国間での工業製品の取引を禁止して自国製品の保護を徹底した。 |
|--|---|--|--|
- 問11 東南アジアなどの熱帯地域において、1年間に同じ土地で同じ作物を2回栽培して収穫する農業形態を何と呼びますか。（2024年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 二毛作 | 2. 輪作 | 3. 二期作 | 4. 転作 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問12 インドやブラジルなどの新興国において、日本やドイツなどの外国企業が現地でも直接、乗用車の生産を行う主な理由として適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 先進国では自動車の需要が完全になくなったため、すべての生産拠点を新興国に移転する必要があるため。 | 2. 国際連合の環境協定により、先進国国内での自動車生産台数が一律で厳しく制限されているため。 | 3. 経済成長に伴い拡大する現地の市場で製品を効率よく販売し、輸送費などのコストも削減するため。 | 4. 新興国では労働賃金が日本などの先進国よりも極めて高いため、より高価な製品を製造・販売できるから。 |
|---|---|--|---|
- 問13 赤道の北側、おおそ東経120度から150度、北緯10度から30度付近のフィリピン海や東シナ海などの海域で発生し、発達して東アジアや東南アジアに暴風雨をもたらす熱帯低気圧を何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|-------|
| 1. ハリケーン | 2. サイクロン | 3. プリザード | 4. 台風 |
|----------|----------|----------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本へのバナナ輸出に関する関税の撤廃と、日本からの看護・介護分野における技能習得支援	EPAは物品の関税だけでなく、サービスや人の移動も対象としています。フィリピン側の具体的なメリットとしては、主要な輸出品目であるバナナの関税がなくなることによる輸出拡大や、看護師・介護福祉士候補者が来日して日本の知識や技能を学ぶ支援を受けられることが挙げられます。これにより、フィリピンの経済活性化と人材育成が図られています。
問2	答え 2 ヒンドゥー教	インドの文化や社会制度に強い影響を与えている宗教です。牛を聖なる動物として大切にしている、カースト制度と呼ばれる身分制度の歴史的背景があるなど、独自の文化を形成しています。仏教はインドで誕生しましたが、現在のインドにおける信仰者の割合はわずかです。
問3	答え 3 米	生産量の上位をアジア諸国が占めているのが大きな特徴です。米は高温多湿な気候に適しており、モンスーン（季節風）の影響を受けるアジア各地で広く栽培されています。また、単位面積あたりの生産力が高いため、人口密度の高いアジアの国々において人々を支える重要な主食となっています。
問4	答え 2 アフリカ最大級の人口と豊富な石油資源を背景に経済成長が続いており、都市部では近代的なショッピングモールが見られる一方、伝統的な市場も重要な役割を果たしている。	ナイジェリアはアフリカ最大の人口を抱え、ギニア湾沿いで産出される石油などのエネルギー資源によって急速な経済成長を遂げています。経済の発展に伴い、都市部では中間層をターゲットとした近代的な小売店舗が増加していますが、依然として多くの人々にとって伝統的な対面販売の市場（マーケット）が生活に欠かせない場となっています。
問5	答え 1 所得水準の向上によって商品の需要が増大し、世界的に有力な巨大な消費市場となった。	インドでは急速な経済発展に伴い、生活に余裕のある中間層や富裕層の割合が劇的に増加しました。これにより、家電、自動車、日用品などあらゆる分野において国内の需要が高まり、世界中の企業が製品を販売しようとする巨大な消費市場としての価値が急速に高まっています。以前のような「安価な労働力の供給源」という側面に加え、現在は「有力な販売先」としての側面が強まっています。
問6	答え 2 人口の増加と経済水準の向上により、商品やサービスを消費する市場としての価値が拡大したため。	2000年代以降の東南アジアでは、インドネシアを筆頭に人口が増え続けていることに加え、1人当たりの国民総所得が大幅に上昇しています。これにより、現地の人々の購買力が高まっており、単なる「安価な労働力を提供する生産拠点（工場）」としてではなく、日本の商品やサービスを売り込む「市場（消費地）」としての魅力が飛躍的に高まったことが、サービス業の進出を加速させています。
問7	答え 1 バンガロール	インド南部にあるバンガロールは、多くのIT企業や研究機関が集積しており、「インドのシリコンバレー」とも呼ばれます。1990年代からの経済自由化を背景に、英語能力や高度な数学教育を受けた優秀な人材を背景として、ソフトウェア開発などのICT産業が大きく成長しました。
問8	答え 1 人口が増加し、一人あたり国民総所得が向上することで、その国は巨大な消費市場としての側面を強める。	経済発展が進む地域では、人口の増加が消費者の母数を増やし、さらに一人あたり国民総所得の向上が個人の消費水準を押し上げます。これら「人口」と「所得」の増加が同時に起こることで、それまで安価な労働力を提供する場所だった「生産拠点」が、高付加価値な商品も売れる「市場」へと成長します。人口減少や所得の停滞は、市場の縮小や購買力の低下につながるため、成長の要因とはなりません。
問9	答え 3 ICT産業	情報通信技術に関連する産業はICT産業と呼ばれます。インドでは共通語として英語が話せる優秀な人材が多く、この産業が国の経済を支える重要な存在となっています。
問10	答え 1 域内の関税が段階的に廃止されて市場としての魅力が高まり、日本などの外国企業の進出が相次いで工業化が進んだ。	ASEANは地域協力の一環として域内での関税撤廃を進め、巨大な自由貿易圏を形成しました。これにより、安価で豊富な労働力に加えて、一つの大きな市場としての価値が高まったため、多くの外国企業が工場を建設するなどして進出し、急速な工業化を成し遂げました。
問11	答え 3 二期作	同じ土地で1年の間に同じ作物を2回栽培することを二期作といいます。これに対し、同じ土地で1年の間に米と麦のように「異なる」種類の作物を栽培することを二毛作と呼び、両者を区別することが重要です。東南アジアでは主に主食である米の二期作が行われています。
問12	答え 3 経済成長に伴い拡大する現地の市場で製品を効率よく販売し、輸送費などのコストも削減するため。	多国籍企業が新興国に進出する背景には、人口増加や経済発展によって将来的に大きな消費が見込める「市場」としての魅力があります。現地で生産を行うことで、完成品を輸出する際にかかる輸送費や関税を抑えることができ、現地の消費者のニーズに合わせた製品を素早く供給することが可能になります。また、先進国に比べて安価な労働力を活用し、生産コストを抑える狙いもあります。
問13	答え 4 台風	熱帯の海上で発生する低気圧（熱帯低気圧）のうち、北西太平洋や南シナ海に存在し、最大風速が秒速約17メートル以上になったものを台風と呼びます。発生する場所によって呼び名が異なり、北米付近ではハリケーン、インド洋やオセアニア付近ではサイクロンと呼ばれます。